

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	28	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる その時々ニーズに対応するよう努めているが、柔軟な支援やサービスの多機能化が行えているかは難しい。	利用者様1人1人のニーズを把握し、それぞれのニーズに合った柔軟な支援を行う事が出来る。	普段の会話や表情、言動から利用者様の要望やニーズを見つけたら、カンファレンスや業務の中で、意見や提案を出す。 他職員からの意見も聞きながら、新しいケアやサービスがないか全スタッフで検討する。 必要に応じて地域の人々の協力や他事業所とも連携して行っていく。	12ヶ月
2	36	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている 出来るだけ意識して行うようにしているが、時折プライバシーの配慮に欠ける声掛けやケアが見受けられる事がある。	利用者様1人1人を尊重し、その時の環境や業務に流されず配慮した声掛けやケアを行う事が出来る。	カンファレンスや身体拘束適正化検討委員会、研修等で改めて尊重やプライバシーについて考える機会を作る。 利用者様1人1人の気持ちになって、時と場所、周囲の環境に応じた声掛けやケアを行っていく。 (排便確認やトイレ・入浴の声掛け等)	12ヶ月
3	35	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている 避難訓練の様子を民生委員や老人会長に見学して頂いた。今後も色々な災害を想定し、定期的に地域の方々とも一緒に訓練を行う機会を作っていきたい。	色々な災害を想定した訓練を行い、地域の人々とも協力しながら、災害対策を行う事が出来る。	時間帯や災害の種類に応じた訓練を行う。(実施訓練や机上訓練) 運営推進会議等を利用し、新しい災害に対する情報や設備等が無いか確認する。また地域の人々の協力が得られるよう交流を継続し、信頼関係を構築していく。 適宜、防災マニュアルを見直す。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。